2026年11月6日

各　　位

会 社 名　共栄タンカー株式会社
代表者名　代表取締役社長　加藤　毅
(コード番号　9130　東証スタンダード市場)
問合せ先　経理部長　荒川　達也
(TEL.　03－4477－7171)

業績予想値と決算値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026年８月５日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）累計連結業績予想値（2026年４月１日～2026年９月30日）の連結業績予想値と本日公表の決算値において差異が生じましたので、お知らせいたします。

また、2027年３月期通期連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）累計連結業績予想値と決算値との差異

（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,400	百万円 400	百万円 150	百万円 3,700	円 銭 483.81
実績値（B）	7,577	347	183	2,296	300.26
増減額（B－A）	177	△52	33	△1,403	
増減率（%）	2.4	△13.2	22.3	△37.9	
（ご参考）前期実績 (2026年３月期第２四半期)	7,586	683	521	442	57.88

２．2027年３月期通期連結業績予想値

（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 15,000	百万円 1,000	百万円 500	百万円 3,700	円 銭 483.81
今回修正予想（B）	15,000	1,000	500	2,500	326.90
増減額（B－A）	－	－	－	△1,200	
増減率（%）	－	－	－	△32.4	
（ご参考）前期実績 (2026年３月期通期)	15,509	1,243	886	414	54.20

３．差異および修正の理由

当第２四半期（中間期）連結累計期間におきましては、主に為替相場が想定よりも円安で推移したこと、および入渠船舶に係る修繕費が増加したこと等による影響を受けました。

売上高につきましては、円安の影響等により前回発表予想を上回り、営業利益は修繕費の増加や円安に伴う船費の増加により減少しました。一方、経常利益は、外貨建債権債務に係る為替差益の発生等により増加しました。また、本日2026年11月６日公表の「(開示事項の経過) 当社連結子会社保有船の推定全損認定に伴う特別損益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当社連結子会社KYOEI TANKER SINGAPORE PTE. LTD.が所有する石油製品船「CHALLENGE PROCYON（チャレンジ・プロキオン）号」に係る引当金を当第２四半期連結会計期間に特別損失へ計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は前回発表予想を下回る結果となりました。

通期連結業績予想につきましては、上記のとおり当第２四半期連結累計期間において引当金を特別損失へ計上したこと等に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る見込みとなったことから、通期連結業績予想を修正するものであります。

（注）

①上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる場合があります。

②配当につきましては、2026年５月13日公表の「2026年３月期決算短信〔日本基準〕(連結)」のとおり、１株当たり普通配当40円（第２四半期20円、期末20円）の予定に変更はありません。

以上